



漏水・防水に関する事業の健全な発展と
消費者の利便性向上のために

JWA

一般社団法人 日本防水協会

Japan Waterproofing Association

一般社団法人 日本防水協会とは

日本防水協会は、漏水・防水に関する問題解決をめざす、公平・公正の第三者機関です。

当協会は、漏水・防水に関する技術並びに知識の進歩発展とそれに携わるものの資質と高揚を図り、もって建物資産価値の維持と住環境の向上と快適さの追求、そして国民の生活の安全、社会福祉の増進に寄与することを目的としております。

主な活動内容

1 建物漏水被害並びに防水対策改善のための調査と研究

建物所有者、管理関係者、施工会社、技術者が必要とする種々の専門知識、情報を集約する勉強会・研究会を恒常的に実施しております。漏水問題、防水技術の研究・勉強会を通して業界の円満な関係の構築、トラブルなど社会的損失の無い賃貸マーケットの創造などに尽力しております。

2 漏水工事技術の向上や防水対策に関する講習会の開催

当協会の防水に関するネットワークと蓄積してきた経験を踏まえ、専門業者・関連事業者向けセミナーの内容をより充実させ、建物の長期保全や管理・修繕にかかわるトラブル解決等について、時勢や経済動向等を踏まえ、関連事業者の求める題材を精査し、より多くの人の役に立つ内容のセミナー等を開催いたします。

3 漏水工事や防水対策に関する相談及び指導

無料診断・無料相談等を毎週月曜日～金曜日に当協会事務局にて年間を通じて受け付けしております。
相談については相談部の登録相談員や各有資格者が電話相談や個別面談・指導を担当、実施いたします。

4 漏水、防水工事に関する保証業務

安全・安心をモットーに、工事発注者が安心して防水工事を発注できるように、防水施工保証制度、及び、防水保証基金をもって、安心を提供してまいります。

5 漏水・防水工事に携わる高度な知識を有する専門家の育成

優良な技術をもって施工する事業者の育成を推進するとともに、未来のある技術者やベンチャー企業の支援を行います。

6 会報誌並びに図書の刊行

会報(防水協会新聞)を適時発行いたします。経済、世情の変動に即し、会員の皆様に向けて有益な情報を発信できるように記事を精査して発行いたします。

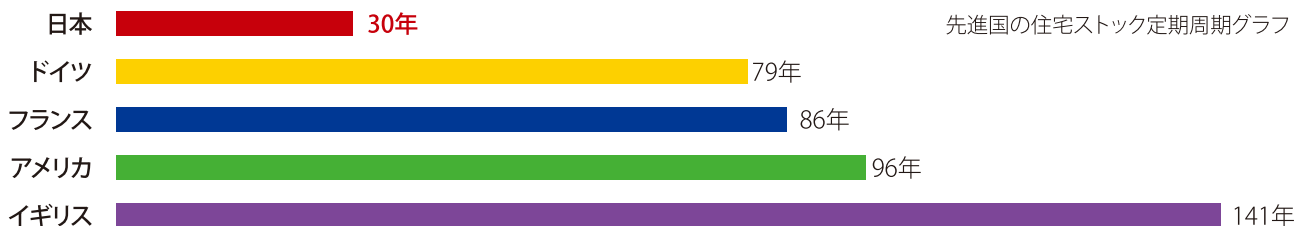
7 関係機関団体との交流と情報の交換

所轄官庁や各自治体、その他業界関連団体や各専門家・資格者の団体等との協力・連携を図り、更なる成果をあげられるようにいたします。

今、なぜ「防水」が注目されているのか

先進国の住宅ストックの定期周期表によると、日本の建物は、欧米に比べてスクラップ＆ビルドの傾向が強いことがわかります。

リフォームや耐震等を考えたとき契機に建替えようということに繋がるケースも多々あり、また、ライフサイクルの多様化により、間取りの大幅な変更やバリアフリーの必要性、部屋数の増加などにより建替えに至るケース、また、賃貸住宅経営においても、入居者ニーズの変化への対応のために建て替えるケースも目立ちます。



先進国の住宅ストック定期周期グラフ

会員制度と特典

当協会の会員は、原則、正会員と賛助会員の2種類に区別されます。

正会員 年会費 12,000円	当協会の目的と事業に協力するため 入会する法人、団体又は個人 当協会のおこなう保証制度は、正会員のみに 受けられます。	賛助会員 年会費 6,000円	当協会の目的と事業に賛助するため 入会する法人、団体又は個人
---------------------------	--	---------------------------	-----------------------------------

会 員 の 特 典	1. 当協会が運営する保証制度の利用(但し正会員に限る)	4. セミナー・講習会等への会員価格での参加
	2. 防水に関する最新技術や新製品等の情報提供	5. 会員同士の交流プラットフォームの活用
	3. セミナー・講習会等への優先的参加	6. 当協会の実施する事業・活動における各種優遇措置

日本防水協会の正会員での施工は、最長25年間保証いたします。

工事依頼者の方々が安心して会員各社に防水工事をご依頼頂けますよう正会員会社が独自に行う保証を補完して、当協会が保証を行う制度です。正会員会社は、施工工事の施工不良やそれに起因する事故に対応するために建設総合保険等に加入していますが、保険の制度上施工会社が倒産した場合などは保険で担保されないこととなっています。このため、当協会では会員会社に倒産後であっても適用となる「工事瑕疵保険」への加入を条件に、仮に工事が原因で漏水が発生したような場合でも施主様が希望されれば倒産会社に代えて、他の協会会員会社に速やかに修復工事を実施させ、被害を最小限化するとともに、器物の損壊に対して一定額のお見舞い給付金を交付するなどを内容とした保証を行います。なお、保証期間は、使用する防水材料、施工方法など工事内容により5年から最長25年の期間で当協会が設定することとなります。

※協会の保証を受けるためには、着工前・工事完了後の審査と保証料が必要となります。
また、補償の範囲、上限額、免責額などの規定がございますので、詳しくは協会にお尋ねください。



● 建物の寿命は防水次第です



世界的にも建物寿命の短い日本ですが、少子高齢化の流れや素材・建築技術の向上もあり、徐々に寿命が延びてきております。健全な建物の維持管理には、「適切な防水」が必須です。日本防水協会は、建物の高寿命化の一助になるべく、日々研究を重ね、より良い社会を目指してまいります。

● 構造別の法的な耐用年数と建替え時期の目安

構造体	構造・工法	耐用年数 (住宅)	建替え時期の目安	
			管理状態良好	管理良くない
木造	在来工法(軸組工法)	20年	築30年～40年	築25年～30年
	枠組壁工法(2×4工法)		築35年～50年	築30年～40年
鉄骨造 (S)	軽量鉄骨・軸組工法	27年	築40年～50年	築30年～40年
	重量鉄骨造	34年	築40年～50年	築30年～40年
鉄筋 コンクリート (RC・SRC)	ラーメン構造	47年	築45年～60年	築30年～40年
	壁式構造		築45年～60年	築30年～40年

管理状態が良好であるか否かで寿命が大きく違ってきます。建物の寿命が延びることは経済的にも大きなメリットとなります。

当協会の取組

我が国の建物は多様化する建築事情により、海外の建築先進国と比較して、「建物の寿命が短い」という大きな特徴があります。欧米では長期的なメンテナンスにより、築100年を超える建物も少なくありません。しかし、日本の場合はどの工法であっても平均寿命が約30～40年程度と非常に短くなっており、むしろ「短命に設定されてきた」という言い方が正しいかもしれません。我が国における人の平均寿命を約80年とすると生涯に2度、3度と建て替えをしなければならず、その度に大きな資金と手間が必要となります。少子高齢化や環境保全を鑑みますと、建物は、スクラップ&ビルドから健全な維持保全、再生へと転換を迫られると考えられます。

成熟型の建築保全社会実現に「防水」はとりわけ重要であり、「防水技術」の発展は建物の寿命を延ばすとともに、ひいては建物所有者のライフプランニングにまで影響を与えることもあります。

当協会は誠実で真摯に防水事業に取り組む事業者の健全な発展を支援し、また、革新的な防水技術の発展に取り組むベンチャー企業の育成などを通じ、社会に貢献をしまいる所存でございますので、是非私たちの活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本防水協会(JWA)
代表理事 黒田真隆

JWA

一般社団法人 日本防水協会
Japan Waterproofing Association

TEL 03-6861-8710

FAX 03-5468-8804

URL <http://bousui-association.jp>

E-mail jwa@bousui-association.jp

Address 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-16-4